令和5年度 伴走型小規模事業者支援推進事業（経営発達推進事業）

福知山市商工会　企業業況調査

令和6年1月調査結果（令和5年10月～12月分　調査対象　79件）（令和6年2月公表）

■景況感

		今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年	
			今回	前回	今回	前回	今回	前回
全体		79	35.8	34.4	38.6	35.6	37.7	35.6
地域別	三和	16	35.9	44.1	32.8	39.7	37.5	36.8
	夜久野	27	33.3	28.8	38.0	29.8	37.0	32.7
	大江	36	37.5	33.8	41.7	37.8	38.2	37.2
業種別	製造業	22	38.6	37.5	42.0	39.8	44.3	40.9
	建設業	21	41.7	37.5	42.9	35.2	36.9	34.1
	卸小売業	15	31.7	30.0	35.0	33.3	30.0	30.0
	サービス業	21	29.8	31.0	33.3	33.3	36.9	35.7

【景況感DIの算出方法】
回答構成比（%）に、以下の点数を乗じてDIを算出
良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
（すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」）

全体の景況感DIは35.8と前回調査より1.4ポイントとプラスとなった。地域別に見ると、夜久野が4.5ポイント、大江が3.7ポイントのプラスで、三和のみ8.2ポイントのマイナスで、夜久野と大江でわずかながら景況感に持ち直しがみられた。業種別に見ると、製造業が1.1ポイント、建設業が4.2ポイント、卸小売業が1.7ポイントのプラス、サービス業は1.2ポイントのマイナスとなり、サービス事業以外の全ての業種で僅かながら景況感はプラスとなった。

先行調査では、先行3ヶ月が38.6となり3ポイントのプラス、先行1年も37.7となり2.1ポイントのプラスとなった。業種別に見ると、先行3ヶ月ではサービス業をのぞく全ての業種でプラス、サービス業は前回と同様のポイントとなった。先行1年では全ての業種でプラスとなった。
新型コロナウイルス禍からの経済活動正常化に伴う人流の増加やインバウンドの回復により恩恵を受ける地域もある一方で、引き続き物価上昇が懸念されるこの地域における小規模事業者を取り巻く環境は厳しく、持ち直しの動きはやや鈍い。

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		向こう3ヶ月	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合			−11.6	−18.2	−16.3	−20.5
売上			−18.6	−25.0	−7.0	−20.9
仕入単価			−62.8	−68.2	−53.5	−54.5
従業員数			−2.3	0.0	7.0	6.8
採算	−2.3	−11.4	−27.9	−34.1	−27.9	−22.7
資金繰り	−25.6	−4.5	−18.6	−15.9	−18.6	−18.2
業況	−34.9	−22.7	−27.9	−20.5	−20.9	−18.2

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		向こう3ヶ月	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上			−25.0	−36.1	−41.7	−25.0
仕入単価			−75.0	−77.8	−52.8	−50.0
客数			−47.2	−55.6	−50.0	−50.0
客単価			−19.4	2.8	−25.0	−2.8
従業員数			−8.3	2.8	−5.6	−8.3
採算	−8.3	−5.6	−38.9	−33.3	−47.2	−30.6
資金繰り	−27.8	−11.1	−30.6	−36.1	−36.1	−25.0
業況	−36.1	−30.6	−44.4	−41.7	−58.3	−44.4

【経営動向DIの算出方法】
「良い」とみる割合（%）から、「悪い」とみる割合（%）を引いてDIを算出
（「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」）
※（製造業・建設業）グループと、（卸小売業・サービス業）グループに分類して集計をしている。

★今期の経営動向
製造業・建設業においては、採算が9.1ポイントのプラス、資金繰りが21.1ポイントのマイナス、業況は12.2ポイントのマイナスとなっている。
卸小売業・サービス業においては、採算が2.7ポイント、資金繰りが16.7ポイント、業況が5.5ポイントのマイナスとなっている。

★前年同期比
製造業・建設業においては、前年同期比では、引合が6.6ポイント、売上が6.4ポイント、仕入単価は5.4ポイントのプラス、従業員数が2.3ポイントのマイナス、採算が6.2ポイントのマイナスとなっている。
卸小売業・サービス業においては、前年同期比では売上が11.1ポイント、仕入単価が2.8ポイント、客数が8.4ポイントのプラスとなっている。客単価が16.6ポイント、従業員数が11.1ポイントのマイナスとなっている。

★向こう3ヶ月
製造業・建設業においては、向こう3ヶ月では、引合が4.2ポイント、売上が13.9ポイント、仕入単価が1ポイント、従業員数は0.2ポイントのプラス、採算のみ5.2ポイントマイナスとなっている。
卸小売業・サービス業においては、向こう3ヶ月では売上が16.7ポイント、仕入単価が162.8ポイントのマイナス、客数が前回と同ポイント、客単価が23ポイントマイナス、従業員数が2.7ポイントのプラスとなっている。

■今期直面している経営上の問題点（業種別上位5項目　項目の後の()は前回順位（同順位あり）、業種の後の数字は回答数）

	製造業（56）		建設業（57）		卸小売業（40）		サービス業（58）		全体（211）	
1位	経費の増加（4）	23.2%	従業員の確保難（2）	26.3%	仕入単価の上昇（1）	22.5%	仕入単価の上昇（1）	29.3%	仕入単価の上昇（1）	23.7%
2位	仕入単価の上昇（1）	21.4%	経費の増加（5）	22.8%	需要の停滞（3）	17.5%	経費の増加（2）	15.5%	経費の増加（2）	19.0%
3位	設備不足（3）	12.5%	仕入単価の上昇（1）	21.1%	経費の増加（2）	12.5%	消費者ニーズの変化（4）	12.1%	需要の停滞（4）	11.4%
4位	人件費の増加（2）	10.7%	需要の停滞（3）	10.5%	従業員の確保難（−）	7.5%	設備の不足（3）	10.3%	従業員の確保難（3）	10.9%
5位	需要の停滞（−）	10.7%	設備不足（−）	5.3%	設備不足（−）	7.5%	需要の停滞（−）	8.6%	設備の不足（−）	9.0%

今期直面している経営上の問題点としては、業種による順位の違いはややあるものの全体の順位としては前回同様「仕入単価の上昇」が1位にあげられており、「経費の増加」が2位、「需要の停滞」が3位となった。引き続きコストアップを中心に課題にあげる経営者が多い。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。
次回は令和6年1月～3月の状況について、令和6年4月に調査する予定です。商工会の経営支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。